

直言

この夏のホヤキ直言

俳人 柿野富高 著

みづ

5/3

1/本

冷夏とは申せ、長い夏百日が過ぎた。

中村草田男氏に

一行あり

毒消し 飲むやわが詩多量の愛永く

一行あり

という句があつて、いやゆる夏冬型の夕イ
70の俳人もからぬが、どちらかといつと春
秋型の夕イ70に属する私は、夏は全り好きで

2

はたいて、一か一はから、仕事柄、夏に地方へ
出かけたことが多い。

飛び機、新幹線に乗ってアタマにくまのほ
若いご夫婦、それも幼いお子さん連れ。

ヨチ子どもが騒いであつた。何となく
が、~~怒~~りもしなければ、これいじめもない。

わゆる産み放しといふ、~~感~~の現れが多い。
先日も時速200キロ以上も走っている新

幹線がリール車の通路を幼児2人の駆けこ
そいでいる。非常に危険なので、今はそのみ

11.30